

2018年度 学修状況調査

2018年9月1日作成

## 1. 初めに

この調査は前期授業が終了した学生に対し、自身の人間的成長を含めた学修状況を確認すると共に学習支援の参考資料を得るため実施した。調査項目は社会人・医療人としての必須能力として「他者との関わり」、「多様な社会への関心」、「思考・判断」、「態度」、学修状況を把握するものとして分野別の「単位取得状況」、「レポート作成能力」、「情報リテラシー」、「授業・グループワークなどでの自己表現」、「学修習慣」についてアンケート調査をおこなった。

## 2. 調査方法

今回のアンケート調査は前期授業が終了している 2018 年 8 月 21 日より 1 週間の間に実施した。対象は本学医療学部の在学生全員とし、Microsoft 社製 Office365 の Forms を用い質問表をメール送信し実施した。

## 3. 結果と補足説明

### A) 他者との関わり

・結果 質問として「他者への関わり; 以下の項目で該当するものを選択してください。」として下記の解答選択しより 1つ選択した結果を件数と列内でのパーセンテージを求めた。

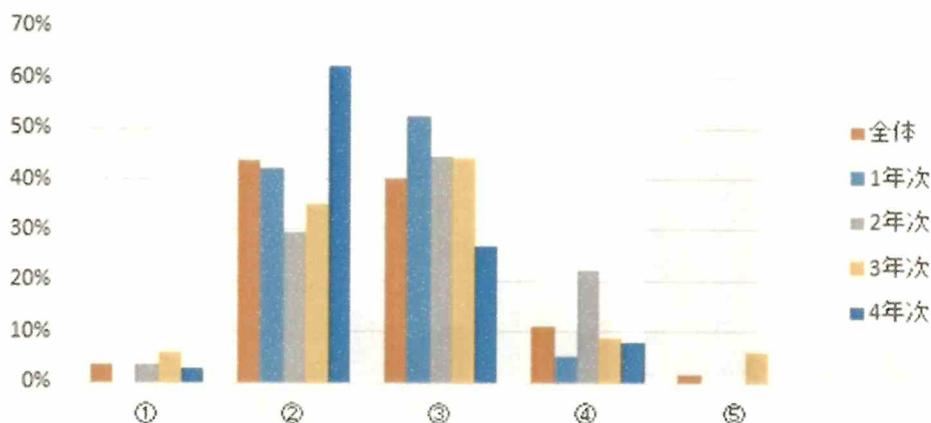
他者との関わり(表1)

回答選択肢	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①友人がいない。	4	0	1	2	1
②少数の友人がいる。	51	8	8	12	23
③学内に多数の友人がいる。	47	10	12	15	10
④学外のコミュニティ(クラブ・同好会など)に参加している。	13	1	6	3	3
⑤多くのコミュニティに属し活動している。	2	0	0	2	0
計	117	19	27	34	37

他者との関わり%(表2)

回答選択肢	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①友人がいない。	3%	0%	4%	6%	3%
②少数の友人がいる。	44%	42%	30%	35%	62%
③学内に多数の友人がいる。	40%	53%	44%	44%	27%
④学外のコミュニティ(クラブ・同好会など)に参加している。	11%	5%	22%	9%	8%
⑤多くのコミュニティに属し活動している。	2%	0%	0%	6%	0%
計	100%	100%	100%	100%	100%

他者とのかかわり(図1)



・補足説明

全体的傾向として「少人数の友人がいる」と「学内に多数の友人がいる。」に2分されており、学年の進行とは関係性は見られない。また「学外のコミュニティー(クラブ・同好会など)」へ関わる学生は2年次以降に少数しか見られなかった。これは1年次の基礎ゼミなどで地域でのボランティアが授業の中で実施されるが、授業が終わればそれらの活動は継続されていないことが考えられる。

B) 多様な社会への関わり

・結果

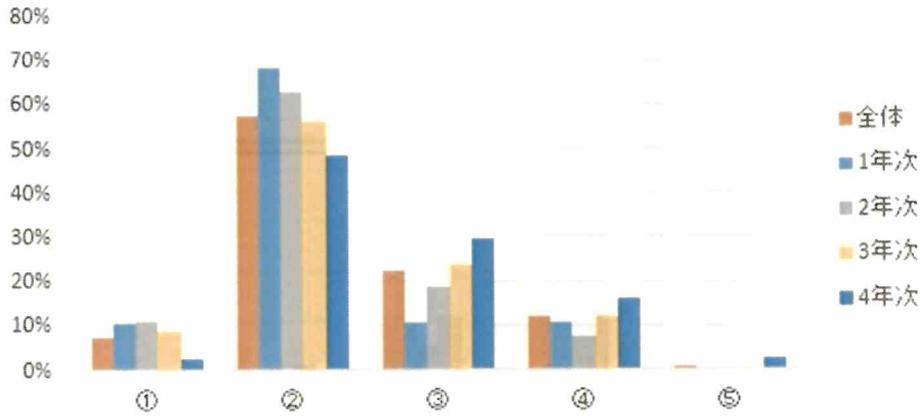
多様な社会への関心(表3)

回答選択肢	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①ニュースなどに全く関心がない。	9	2	3	3	1
②ときどきニュースを見る。	67	13	17	19	18
③興味のあるニュースについて自分から探して調べる。	26	2	5	8	11
④ ③に加え、関連した情報を本やインターネットで調べる。	14	2	2	4	6
⑤自ら進んで社会の問題を考え解決しようと行動する。	1	0	0	0	1
計	117	19	27	34	37

多様な社会への関心%(表4)

回答選択肢	全体				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①ニュースなどに全く関心がない。	8%	11%	11%	9%	3%
②ときどきニュースを見る。	57%	68%	63%	56%	49%
③興味のあるニュースについて自分から探して調べる。	22%	11%	19%	24%	30%
④ ③に加え、関連した情報を本やインターネットで調べる。	12%	11%	7%	12%	16%
⑤自ら進んで社会の問題を考え解決しようと行動する。	1%	0%	0%	0%	3%
計	100%	100%	100%	100%	100%

多様な社会への関心(図2)



・補足説明

ニュースやインターネットで世の中の情勢を知ることが社会人として大切なことであるが、ほとんどの学生は「ときどきニュースを見る。」程度であるが、高学年になるに従って自分でニュースや関連した情報を調べる学生も見られた。

C) 単位取得状況・人文科学分野

・結果

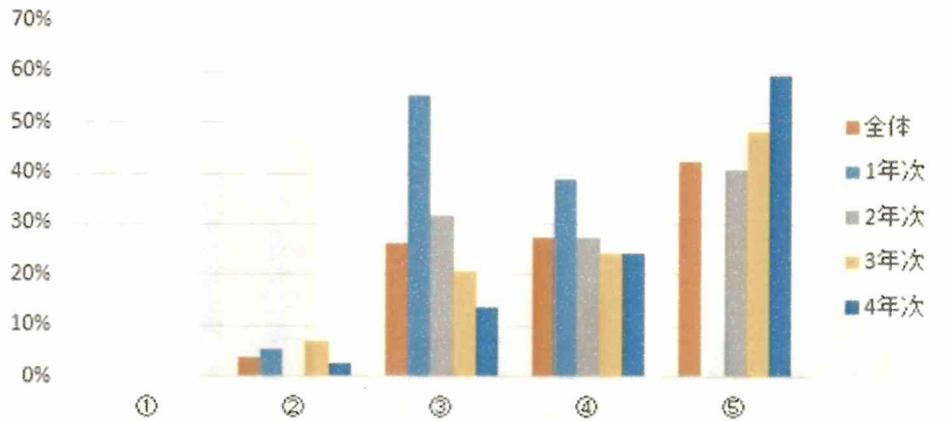
単位取得状況・人文科学分野(表5)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した科目がない。	0	0	0	0	0
②1単位取得している。	4	1	0	2	1
③2単位取得している。	28	10	7	6	5
④3単位取得している。	29	7	6	7	9
⑤4単位以上取得している。	45	0	9	14	22
計	106	18	22	29	37

単位取得状況・人文科学分野 % (表6)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した科目がない。	0%	0%	0%	0%	0%
②1単位取得している。	4%	6%	0%	7%	3%
③2単位取得している。	26%	56%	32%	21%	14%
④3単位取得している。	27%	39%	27%	24%	24%
⑤4単位以上取得している。	42%	0%	41%	48%	59%
計	100%	100%	100%	100%	100%

単位取得状況・人文科学分野(図3)



・補足説明

学年進行に伴い取得単位は増加している。調査を行った8月中旬ではまだ成績が確定していない科目もあるので1・2年次は取得単位数が少ないと考えられる。

D) 単位取得状況・自然科学分野

・結果

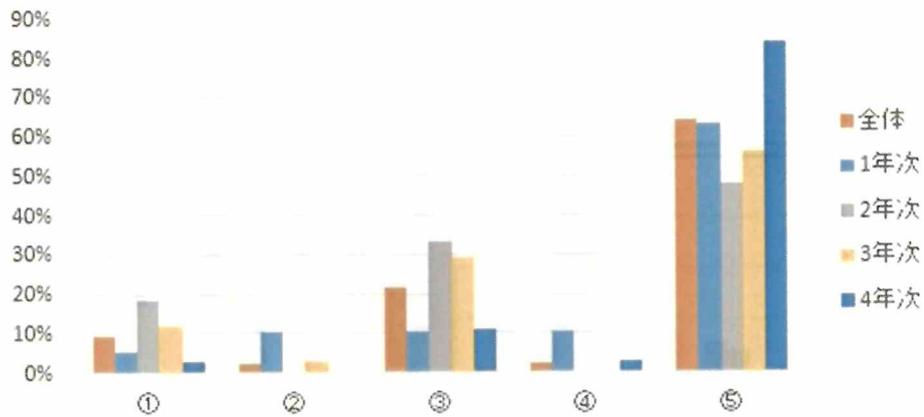
単位取得状況・自然科学分野(表7)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した科目がない。	11	1	5	4	1
②1単位取得している。	3	2	0	1	0
③2単位取得している。	25	2	9	10	4
④3単位取得している。	3	2	0	0	1
⑤4単位以上取得している。	75	12	13	19	31
計	117	19	27	34	37

単位取得状況・自然科学分野%(表8)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した科目がない。	9%	5%	19%	12%	3%
②1単位取得している。	3%	11%	0%	3%	0%
③2単位取得している。	21%	11%	33%	29%	11%
④3単位取得している。	3%	11%	0%	0%	3%
⑤4単位以上取得している。	64%	63%	48%	56%	84%
計	100%	100%	100%	100%	100%

単位取得状況・自然科学分野(図4)



・ 補足説明

自然科学系の科目は医療との関りが深いことより、多くの科目を履修するよう指導しているため4単位以上取得している学生が多く見られた。

E) 単位取得状況・社会科学分野

・ 結果

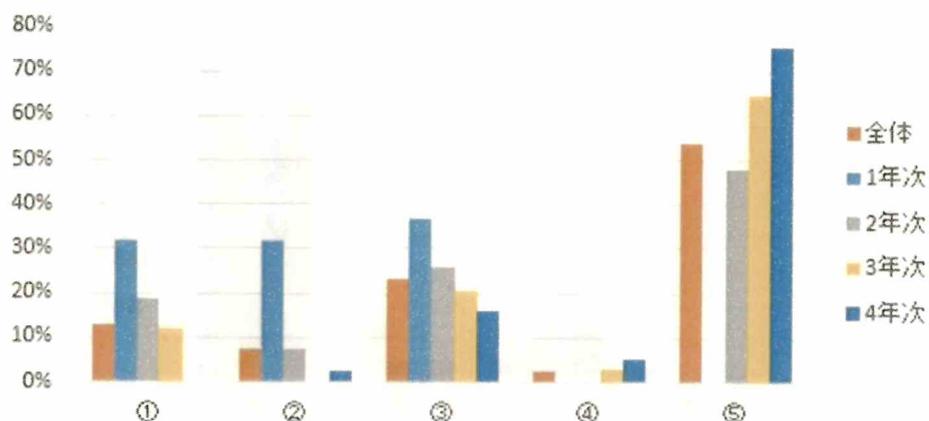
単位取得状況・社会科学分野(表9)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した科目がない。	15	6	5	4	0
②1単位取得している。	9	6	2	0	1
③2単位取得している。	27	7	7	7	6
④3単位取得している。	3	0	0	1	2
⑤4単位以上取得している。	63	0	13	22	28
計	117	19	27	34	37

単位取得状況・社会科学分野 (表10)

	%				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した科目がない。	13%	32%	19%	12%	0%
②1単位取得している。	8%	32%	7%	0%	3%
③2単位取得している。	23%	37%	26%	21%	16%
④3単位取得している。	3%	0%	0%	3%	5%
⑤4単位以上取得している。	54%	0%	48%	65%	76%
計	100%	100%	100%	100%	100%

単位取得状況・社会科学分野(図5)



・補足説明

社会科学系の科目では多くの学生は2科目を1・2年次で計画的に取得する学生が多い、多くの学生は1年次前期で2単位、1年次後期あるいは2年次で2単位取得しているため8月時点ではこのような結果となったと思われる。

F) 単位取得状況・外国語分野

・結果

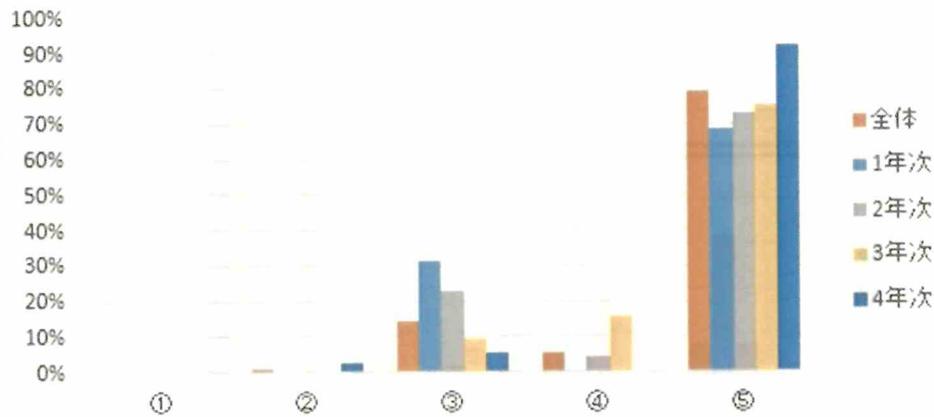
単位取得状況・外国語分野(表11)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した単位がない。	0	0	0	0	0
②1単位取得している。	1	0	0	0	1
③2単位取得している。	16	6	5	3	2
④3単位取得している。	6	0	1	5	0
⑤4単位以上取得している。	87	13	16	24	34
計	110	19	22	32	37

単位取得状況・外国語分野%(表12)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した単位がない。	0%	0%	0%	0%	0%
②1単位取得している。	1%	0%	0%	0%	3%
③2単位取得している。	15%	32%	23%	9%	5%
④3単位取得している。	5%	0%	5%	16%	0%
⑤4単位以上取得している。	79%	68%	73%	75%	92%
計	100%	100%	100%	100%	100%

単位取得状況・外国語分野(図6)



・補足説明

教養科目のうち外国語の卒業要件は 4 単位以上であることより多くの学生は早期に 4 単位を確保する傾向にあることより、このような結果となったと考えられる。

G) 取得単位について・専門基礎分野

・結果

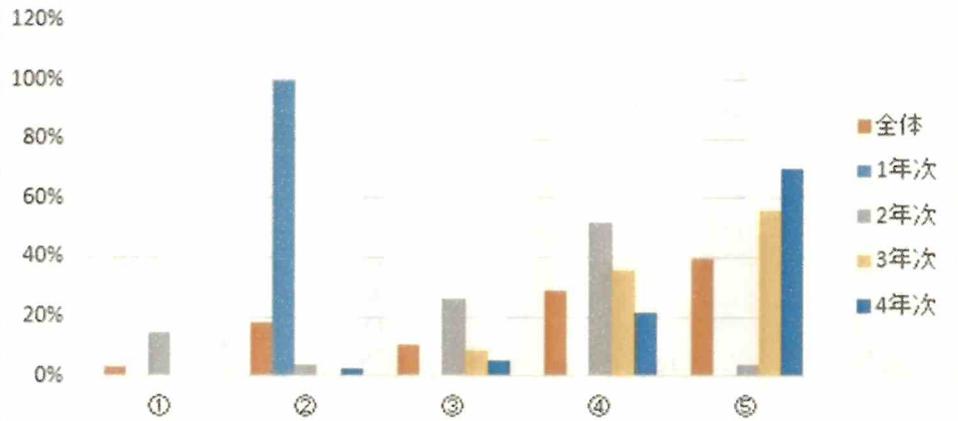
取得単位について・専門基礎分野(表13)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した科目がない。	4	0	4	0	0
②1-11 単位取得している。	21	19	1	0	1
③12--23 単位取得している。	12	0	7	3	2
④24-35 目取得している。	34	0	14	12	8
⑤36 単位以上取得している。	46	0	1	19	26
計	117	19	27	34	37

取得単位について・専門基礎分野 % (表14)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した科目がない。	3%	0%	15%	0%	0%
②1-11 単位取得している。	18%	100%	4%	0%	3%
③12--23 単位取得している。	10%	0%	26%	9%	5%
④24-35 目取得している。	29%	0%	52%	35%	22%
⑤36 単位以上取得している。	39%	0%	4%	56%	70%
計	100%	100%	100%	100%	100%

取得単位について・専門基礎分野(図7)



・補足説明

専門基礎分野は主として1年次より2年次に渡って配当されている科目であるので1年次前期の取得単位は11単位以内となる。

H) 取得単位について・専門分野

・結果

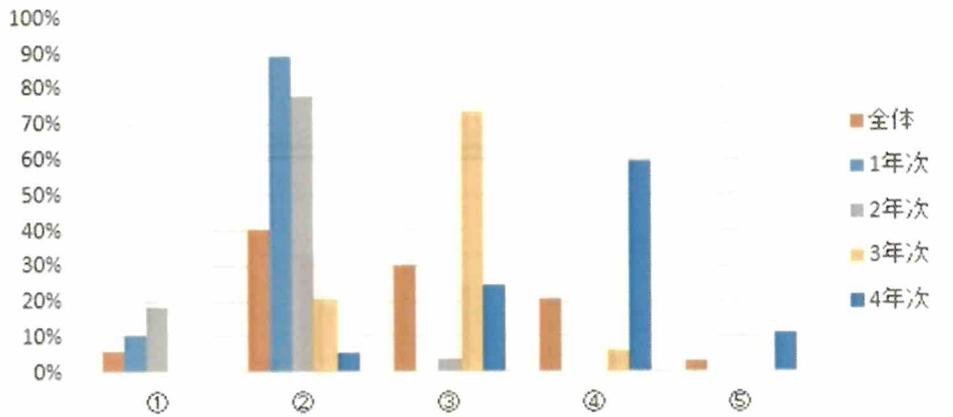
取得単位について・専門分野(表15)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した科目がない。	7	2	5	0	0
②1-22単位取得している。	47	17	21	7	2
③23-45単位取得している。	35	0	1	25	9
④46-67単位取得している。	24	0	0	2	22
⑤68単位以上取得している。	4	0	0	0	4
計	117	19	27	34	37

取得単位について・専門分野 % (表16)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①取得した科目がない。	6%	11%	19%	0%	0%
②1-22単位取得している。	40%	89%	78%	21%	5%
③23-45単位取得している。	30%	0%	4%	74%	24%
④46-67単位取得している。	21%	0%	0%	6%	59%
⑤68単位以上取得している。	3%	0%	0%	0%	11%
計	100%	100%	100%	100%	100%

取得単位について・専門分野(図8)



・補足説明

学年進行に伴い専門分野の単位取得数は増加するが、1・2年次生の中には少数であるが単位が取得できない学生がいる。

I) 思考・判断

・結果

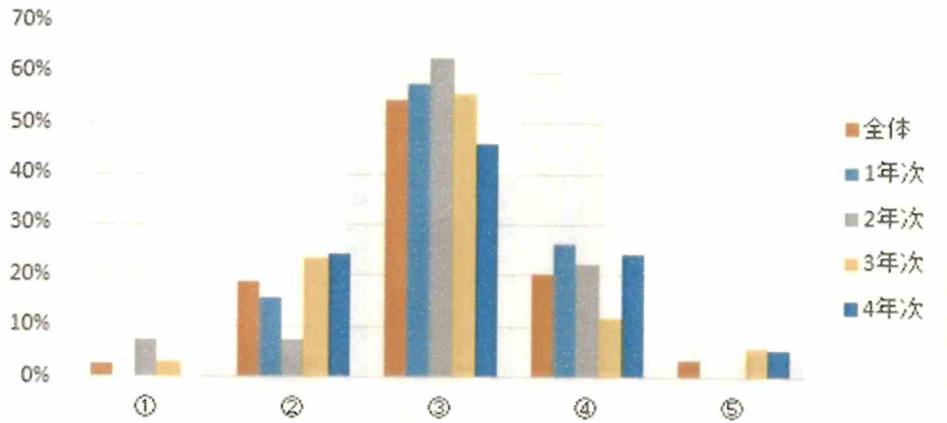
思考・判断(表17)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①自分で考え・判断することができない。	3	0	2	1	0
②課題の理解と判断に多くのアドバイスが必要である。	22	3	2	8	9
③少しのアドバイスがあれば課題についての理解と判断ができ	64	11	17	19	17
④ほとんど自分で考え判断し行動できる。	24	5	6	4	9
⑤全ての事柄において自分で考え・判断し行動している。	4	0	0	2	2
計	117	19	27	34	37

思考・判断%(表18)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①自分で考え・判断することができない。	3%	0%	7%	3%	0%
②課題の理解と判断に多くのアドバイスが必要である。	19%	16%	7%	24%	24%
③少しのアドバイスがあれば課題についての理解と判断ができる。	55%	58%	63%	56%	46%
④ほとんど自分で考え判断し行動できる。	21%	26%	22%	12%	24%
⑤全ての事柄において自分で考え・判断し行動している。	3%	0%	0%	6%	5%
計	100%	100%	100%	100%	100%

思考・判断(図9)



・ 補足説明

自力で思考・判断できる学生の割合は学年進行に関連しない。また多くの学生が「少しのアドバイスがあれば課題についての理解と判断ができる。」と回答している。

J) 態度

・ 結果

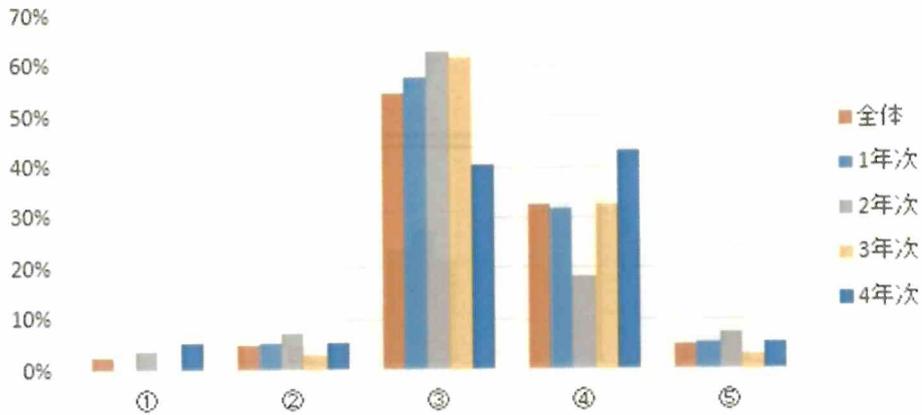
態度(表19)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①自分の考えだけで行動することが多い。	3	0	1	0	2
②友人・親などの意見を聞こうとするが自分の考えに固執する。	6	1	2	1	2
③他者の意見も参考として自己の良心と最低限の社会的ルールに従って行動できる。	64	11	17	21	15
④自らを律し他者の意見と社会的ルールに従って行動できる。	38	6	5	11	16
⑤自己より他者の立場に立って社会的ルールを超えた倫理観に基づいて行動できる。	6	1	2	1	2
計	117	19	27	34	37

態度 % (表20)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①自分の考えだけで行動することが多い。	3%	0%	4%	0%	5%
②友人・親などの意見を聞こうとするが自分の考えに固執する。	5%	5%	7%	3%	5%
③他者の意見も参考として自己の良心と最低限の社会的ルールに従って行動できる。	55%	58%	63%	62%	41%
④自らを律し他者の意見と社会的ルールに従って行動できる。	32%	32%	19%	32%	43%
⑤自己より他者の立場に立って社会的ルールを超えた倫理観に基づいて行動できる。	5%	5%	7%	3%	5%
計	100%	100%	100%	100%	100%

態度(図10)



・ 補足説明

多くの学生が他者の意見や社会的ルールを尊重して行動できると回答し、その傾向は高学年になるに従って強くなっている。

K) レポート作成能力

・ 結果

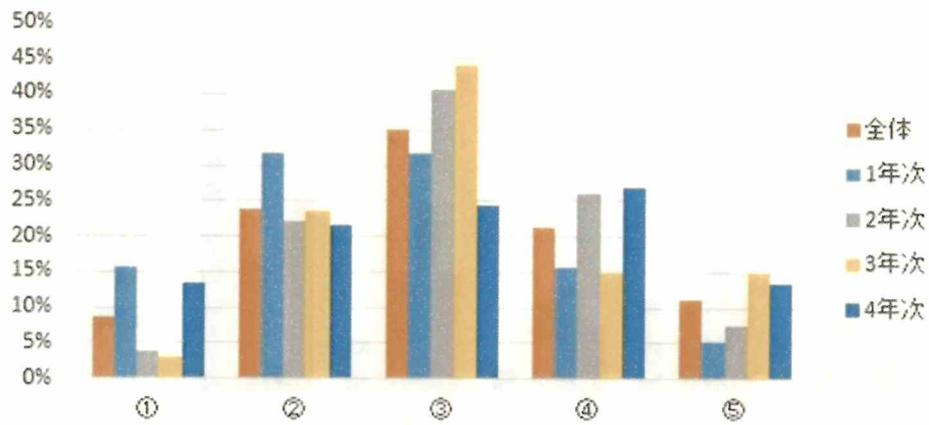
レポート作成能力(表21)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①ほとんど他の学生や資料をそのまま写している。	10	3	1	1	5
②グラフや図などの工夫が自分で行える。	28	6	6	8	8
③ ②に加え、自分の考えを文章として表現できる。	41	6	11	15	9
④ ③に加え教科書で調べ結果を考察できる。	25	3	7	5	10
⑤ ④に加え専門誌などの文献も調べ結果を考察できる。	13	1	2	5	5
計	117	19	27	34	37

レポート作成能力 %(表22)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①ほとんど他の学生や資料をそのまま写している。	9%	16%	4%	3%	14%
②グラフや図などの工夫が自分で行える。	24%	32%	22%	24%	22%
③ ②に加え、自分の考えを文章として表現できる。	35%	32%	41%	44%	24%
④ ③に加え教科書で調べ結果を考察できる。	21%	16%	26%	15%	27%
⑤ ④に加え専門誌などの文献も調べ結果を考察できる。	11%	5%	7%	15%	14%
計	100%	100%	100%	100%	100%

レポート作成能力(図11)



・補足説明

レポート作成能力では、③の「自分の考えを文章として表現できる。」とする学生は1年より3年次にかけて漸次増加しているが、調べて考察できている学生は少ない。

L) 情報リテラシー

・結果

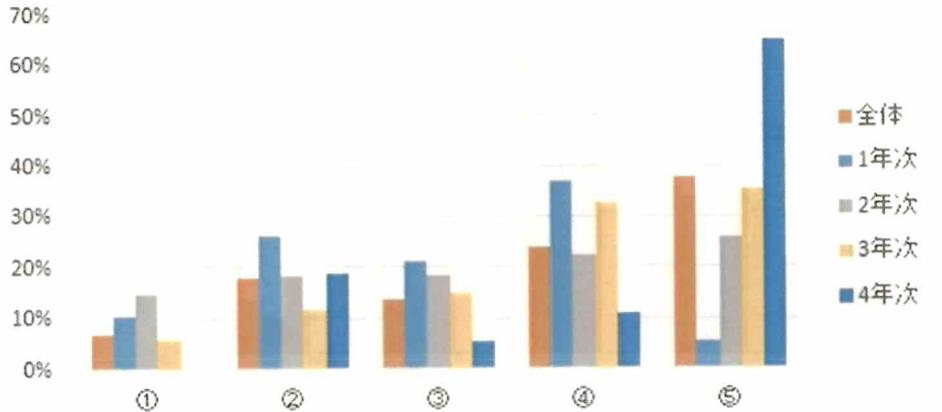
情報リテラシー(表23)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①学内メール(Office365)の設定ができていない。	8	2	4	2	0
②学内メールの設定が出来ている。	21	5	5	4	7
③ ②に加えWord, Excelを使用しレポートを作成できる。	16	4	5	5	2
④ ③に加えPowerPointで発表資料を作成できる。	28	7	6	11	4
⑤ ④に加え文献検索とダウンロードを行える。	44	1	7	12	24
計	117	19	27	34	37

情報リテラシー%(表24)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①学内メール(Office365)の設定ができていない。	7%	11%	15%	6%	0%
②学内メールの設定が出来ている。	18%	26%	19%	12%	19%
③ ②に加えWord, Excelを使用しレポートを作成できる。	14%	21%	19%	15%	5%
④ ③に加えPowerPointで発表資料を作成できる。	24%	37%	22%	32%	11%
⑤ ④に加え文献検索とダウンロードを行える。	38%	5%	26%	35%	65%
計	100%	100%	100%	100%	100%

情報リテラシー(図12)



・補足説明

Excel, Word レベルに留まる学生が学年を問わず一定数いる。文献検索の活用は学年進行と共に増加している。これは高学年ほどレポート課題が多くなることと関連していると考えられる。

M) 表現; 授業・グループワークなどでの自己表現について

・結果

表現; 授業・グループワークなどでの自己表現について(表25) 回答件数

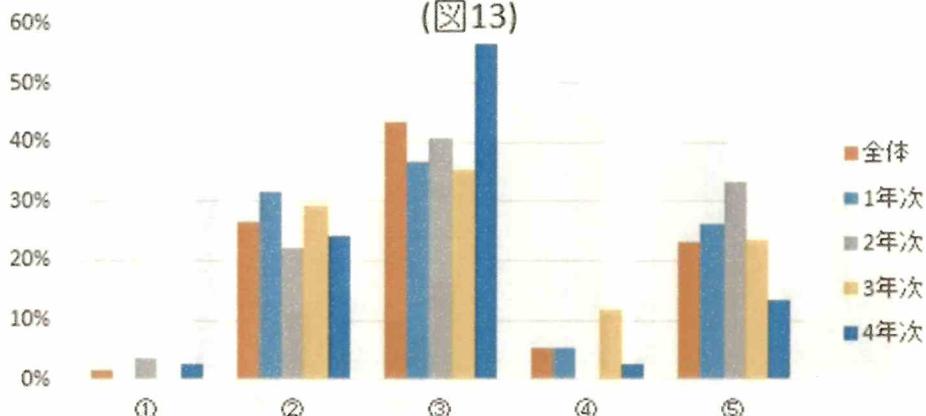
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
① 発言したことがない。	2	0	1	0	1
② 指定されれば自分の意見を述べるができる。	31	6	6	10	9
③ 自分から進んで発言することがあるが多くはない。	51	7	11	12	21
④ 積極的に発言をするが十分自分の意見を伝えられない。	6	1	0	4	1
⑤ 積極的に発言し十分自分の意見を表現できる。	27	5	9	8	5
計	117	19	27	34	37

表現; 授業・グループワークなどでの自己表現について %(表26)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
① 発言したことがない。	2%	0%	4%	0%	3%
② 指定されれば自分の意見を述べるができる。	26%	32%	22%	29%	24%
③ 自分から進んで発言することがあるが多くはない。	44%	37%	41%	35%	57%
④ 積極的に発言をするが十分自分の意見を伝えられない。	5%	5%	0%	12%	3%
⑤ 積極的に発言し十分自分の意見を表現できる。	23%	26%	33%	24%	14%
計	100%	100%	100%	100%	100%

### 表現; 授業・グループワークなどでの自己表現

(図13)



・ 補足説明

ほとんどの学生が「指定されれば自分の意見を述べる事ができる。」～「自分から進んで発言することがあるが多くはない。」の範囲で分布し積極的に発言できるものは2割程度で学年進行とは関連しない。

### N) 学修の習慣; 日頃の勉強時間について

・ 結果

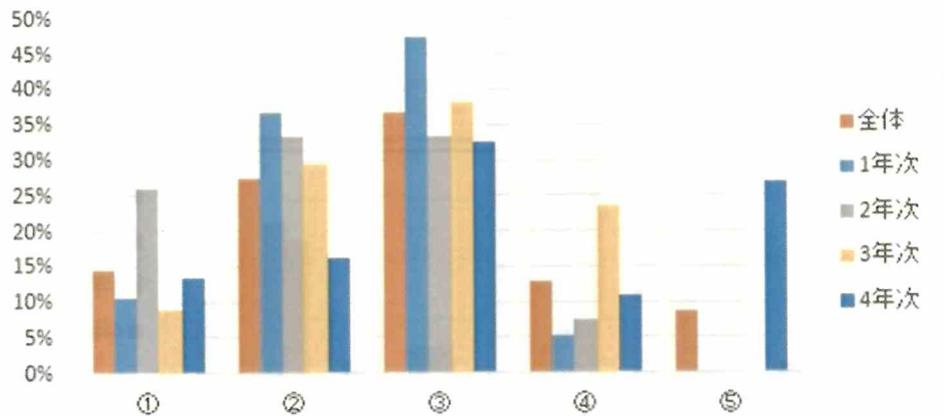
学修の習慣; 日頃の勉強時間について(表27)

	回答件数				
	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①ほとんど勉強していない。	17	2	7	3	5
②1日平均1時間未満	32	7	9	10	6
③1日平均1時間以上～2時間未満	43	9	9	13	12
④1日平均2時間以上～4時間未満	15	1	2	8	4
⑤1日平均4時間以上	10	0	0	0	10
計	117	19	27	34	37

学修の習慣; 日頃の勉強時間について%(表28)

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
①ほとんど勉強していない。	15%	11%	26%	9%	14%
②1日平均1時間未満	27%	37%	33%	29%	16%
③1日平均1時間以上～2時間未満	37%	47%	33%	38%	32%
④1日平均2時間以上～4時間未満	13%	5%	7%	24%	11%
⑤1日平均4時間以上	9%	0%	0%	0%	27%
計	100%	100%	100%	100%	100%

学修の習慣; 日頃の勉強時間(図14)



・補足説明

多くの学生の勉強時間は2時間未満でやや少ない傾向にある。また国家試験を控える4年生は4時間以上とするものが3割程度見られた。

4. まとめ

- ・他者との関りでは、郊外に位置する大学であるのか主として学内のみの人間関係となっている学生が多く、学外のコミュニティとの関りを持つ学生は少ない。
- ・また一般社会への関心は、ときどきニュースを見る程度で積極的に情報を得ようとする学生が少ない。
- ・分野別の単位取得状況では、年次別に取得単位は順調に増加しているが、一部の学生で単位を取得できていないものも一定数みられる。
- ・自立して思考・判断できる学生は少なく、学年の進行とは関連しない。多くの学生は何らかのアドバイスを必要としている。
- ・態度面では、多くの学生が他者の意見や社会的ルールを尊重している。
- ・レポート作成能力は、学年進行に従い上がってくるが、調べて書くことができる学生は少ない。
- ・情報リテラシーでは、基本的アプリケーションレベルに留まる学生が一定数みられた。
- ・グループワークなどでの自己表現能力では、半数以上は消極的であり、積極的な学生は2割程度である。
- ・勉強時間は、相対的に少なく多くは2時間未満であるが、4年生では4時間を超える学生も3割程度見られた。